

放流した耳石標識ハタハタの再捕

メタデータ	言語: Japanese
	出版者:
	公開日: 2025-04-24
	キーワード (Ja):
	キーワード (En):
	作成者: 長倉, 義智, 島, 康洋, 杉山, 秀樹, 白幡, 義広, 柴田, 理
	メールアドレス:
URL	所属:
	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2014438

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



放流した耳石標識ハタハタの再捕

長倉義智・島 康洋・杉山秀樹・白幡義広・柴田 理

1988～1993 年にかけて耳石に ALC 標識を装着して、秋田県北浦に放流されたハタハタ種苗 268 万尾の追跡調査を行った。その結果、3.3 万尾のサンプルから ALC 標識魚が 12 尾（雌 5 尾、雄 7 尾）発見された。放流魚が沖合であるいは産卵のため接岸する成熟魚として再捕されたことは初めてのことであり、放流後の経過日数は最も長いもので 1055 日であった。混獲率が低いにもかかわらず放流魚の再捕が確認できたのは、サンプルを大量処理したことによる。

栽培技研, 23(2), 125-129, 1995